

## 草の根・人間の安全保障無償資金協力 バタンバン州国道5号線洪水対策計画 完成式典開催

8月19日、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「バタンバン州国道5号線洪水対策計画」の洪水対策施設の完成式が、バタンバン州オーチャー地区において開催されました。右式典には、日本国大使館から飯塚知浩書記官が出席し、チャン・ソポール州知事、バタンバン州政府関係者、対象地域の住民ら約200名が参列しました。このプロジェクトは、バタンバン州国道5号線において、雨季の洪水による道路の浸水を軽減し、周辺の衛生環境改善を図るために、雨水貯水槽42基を備えた直径0.8mのコンクリート製排水管、全長1,070mを地下に埋設することによって、市場や小学校の他、周囲の住民約18,000名に裨益する案件です。

式典で飯塚書記官は、「洪水対策施設の完成式典を行うことができ、嬉しく思います。重要な国道である5号線に建設された洪水対策施設が日本とカンボジアの友好の象徴として長く利用され、近年増加する日本企業の運輸能力向上にも効果が発揮されることが期待されます。また、本事業をきっかけに日本とカンボジアの友好関係がさらに親密になることを願っています」と述べました。

続いて、チャン・ソポール・バタンバン州知事は、「日本のバタンバン州への支援に大変感謝しています。洪水被害が減少することで、より多くの方がバタンバン州を訪れ、農作物の買い手が増えることでみなさんの生活も向上することが見込まれます。地域のみなさんには、この新しい施設を大切に使うことを希望します」と述べました。最後に飯塚書記官とチャン・ソポール・バタンバン州知事らが、洪水対策施設のテープカットを行い、式典は終了しました



式典の様子



州知事のスピーチ



テープカットの様子



完成した洪水対策施設